

## 第26回化学工学会九州支部学生賞審査会 報告

令和3年8月31日に第26回化学工学会九州支部学生賞審査会がオンラインにて行われました。本学生賞は、学生自身の能力を審査する観点から、研究の理解度やプレゼンテーション能力を特に重視して毎年審査が行われている支部企画です。本年は博士課程2名、修士課程8名が審査会において研究発表を行い、8名の審査委員によって厳正に審査が行われました。その結果、受賞者は下記の通り、博士課程の部は1名、修士課程の部は3名の方に決定しました。発表した学生諸君の研究への理解、発表能力も高いレベルのものが多く、今後のさらなる活躍が期待される審査会となりました。長時間にわたり教育的見地に立ち、厳正なる審査を担当して頂いた審査委員の皆様に、心より感謝申し上げます。

### 【博士課程の部】

佐藤 峻 （九州大学）

「架橋酵素によるタンパク質重合化挙動の制御と応用」

### 【修士課程の部】

井上 雄太 （九州大学）

「後眼部への薬物送達を目的としたナノゲルエマルジョンの開発」

内田 和希 （九州大学）

「相分離脂質二分子膜上のドメイン構造選択的なタンパク質局在化技術の開発」

森満 優斗 （鹿児島大学）

「疎水化高分子の薬剤徐放担体としての応用」

審査員氏名（敬称略、順不同）

齋藤泰洋、梶原稔尚、大渡啓介、岩本光生、河邊佳典、岡伸人、中澤浩二、菅本和寛

（九州支部庶務幹事 井上元）